

◆ベンゲラ州 M&S の実施◆

ベンゲラ州の5市（Benguela市、Baia Farta市、Catumbera市、Caimbambo市、Ganda市）で、母子健康手帳導入開始3ヶ月後の、モニタリング&スーパービジョン（M&S）を実施しました。手帳導入3ヶ月後のM&Sでは、手帳を導入した全ての保健施設を回って、母子健康手帳の配布・記入・在庫管理状況の確認、母子保健サービスに必要な医薬品／機材がそろっているかをチェックリストに沿って確認します。M&Sの最後には、保健スタッフと一緒に各保健施設で改善すべき目標を各施設3つ程度立てて、壁に貼るようになっています。保健スタッフ全員が見える位置に貼り、「見える化」することによって、全員がチームとなって目標達成に向かえるように工夫しています。

今回、ベンゲラ州では、2～3チームに別れて、合計76の保健施設でM&Sを実施しました。

市	日程	M&Sを実施した保健施設の数
Benguela市	2021年9月6～10日	29
Baia Farta市	2021年9月6～10日	14
Catumbera市	2021年9月15～21日	10
Caimbambo市	2021年9月15～21日	10
Ganda市	2021年10月4～8日	13

2021年5～7月に実施した手帳導入時のM&Sと比較して、大きく状態が改善している保健施設もありました。特にCaimbambo市保健局は継続してM&Sを実施できていて、前回のM&S時に課題となっていた産前健診台帳が適切に記入できている保健施設が増えていました。また、母子健康手帳を持って産前健診を受診している妊婦さんにもインタビューし、「かわいい」「家族で読んだ」等と言った手帳の感想を聞くこともできました。



チェックリストに沿ってM&Sを実施



M&Sで一緒に設定した目標を保健スタッフが施設の壁に掲示



保健施設に受診に来ていた妊婦さんたちと

◆M&Sで設定した目標例◆

- 施設内研修を継続して実施する
- 母子健康手帳の在庫管理票を記入する
- 手帳の9ページ（健診結果に基づく総合アセスメント）を忘れずに記入する
- 成長曲線を書けるように練習する
- 産前健診台帳の書き方をスタッフ全員が理解する
- テクニカルマニュアルを読む、など